

仰木 彬 監督 近鉄バファローズ1989年優勝記念帽子

野球殿堂博物館では現在、特集展示「近鉄バファローズ 猛牛戦士たちの記憶」を開催しています。本展開催にあたり、故 仰木 彬氏(2004年野球殿堂入り)のご家族より今回紹介する1989年優勝記念帽子などをご寄贈いただきました。

仰木氏は西鉄黄金期の二塁手で、引退後西鉄コーチを経て、恩師である三原脩監督に呼ばれ1970年から近鉄のコーチに。88年に監督に就任すると、伝説の「10.19」で優勝にあと一步まで迫り、89年はオリックスと西武を抑えてリーグ優勝を成し遂げました。92年まで毎年Aクラスの成績を収め退任。94～2001年にはオリックス・ブルー

ウェーブの監督を務め、阪神淡路大震災の95年にリーグ優勝、翌96年には日本一に導きました。04年オフ、オリックスと近鉄の合併を受けバファローズの監督に復帰。しかし、体調不良で同年限りで退任し12月に逝去されました。

本展は、4月4日(日)までの開催です。写真の優勝記念帽子に加え、併せてご寄贈いただいた球団ジャンパーも展示しています。また、オリックス日本一の1996年ビジター用ユニホームも、常設展示で展示中です。ぜひご覧ください。

公益財団法人 野球殿堂博物館
学芸員 関口貴広

